



Market Eyes No.215

『ESG』に着目した投資の高まり

大和投資信託

n 環境 (E)、社会 (S)、企業統治 (G) に着目

- 日本株投資において、企業価値を評価する材料として「ESG」への関心が高まっている。ESGとは、Environment (環境)、Social (社会)、Governance (企業統治) の頭文字を合わせた言葉。これら3つの要素から企業を分析し、優れた取り組みを実践する企業に投資するのがESG投資だ。
- 従来一般的な株式投資では、市場における需給動向や利益率やキャッシュフロー、資本の効率性など財務情報を分析して企業を選別してきた。これに加え、非財務情報であるESGの要素を考慮することによって、長期投資を行う上で重要な「企業の持続的な成長力」を判断する動きが顕著になっている。ESGに関する要素は様々だが、一例としては「環境 (E)」は地球温暖化対策の状況、「社会 (S)」は女性従業員の活躍度合い、「企業統治 (G)」は取締役の構成などが挙げられる。
- 世界のESG投資額の統計を集計している国際団体のGSIA (Global Sustainable Investment Alliance) によると、世界全体のESG投資額は、22兆8,900億米ドル (約2,541兆円、1米ドル=111円で換算) もの規模に達している。運用資産に占めるESG投資の比率では、日本は3.4%で、ESG投資で先行している欧州などと比べまだまだ低いのが現状だ。**【図表1】**

【図表1】 世界のESG投資残高 (2016年)

	ESG投資残高 (10億米ドル)	運用資産に占める ESG投資の比率 (%)
欧州	12,040	52.6
米国	8,723	21.6
カナダ	1,086	37.8
豪州・NZ	516	50.6
アジア (除く日本)	52	0.8
日本	474	3.4
世界全体	22,890	26.3

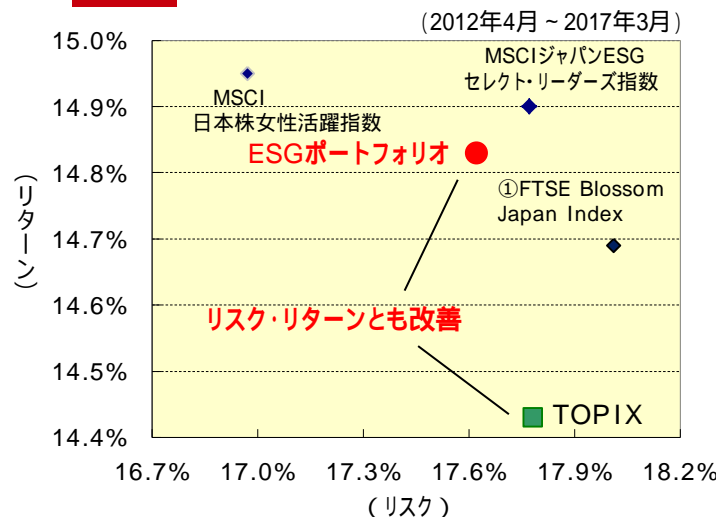
【図表2】 GPIFが採用した3つのESG指数

種別	指数名	指数コンセプト
総合型	FTSE Blossom Japan Index	●ESG指数としては世界でも有数の歴史を持つFTSEの指数シリーズの業種ウエイトを中立的化したESG総合型指数。
総合型	MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	●世界で1,000社以上が利用するMSCIのESGリサーチに基づいて構築し、様々なESGリスクを包括的に市場ポートフォリオに反映したESG総合型指数。
テーマ型・社会 (S)	MSCI日本株女性活躍指数 (愛称はWIN)	●女性雇用に関するデータに基づき、多面的に性別多様性スコアを算出、各業種から性別多様性スコアの高い企業を選別して指数を構築。当該分野で網羅的に構築した初の指数。

n GPIF、ESG投資に約1兆円

- こうした中、日本で、ESG投資への新たな動きが広がりつつある。年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が7月3日、ESG投資の運用を始めたと発表。GPIFの公表によると今年の6月末までに、当初は国内株全体の3%程度にあたる約1兆円の組み入れを開始。将来的にはその投資額を増やしていく見込みであり、他の年金などを運用する機関投資家が追隨する動きが広がりそう。
- GPIFによるESG投資は3つの新しい株価指数に連動した運用をめざす手法だ。具体的には、環境 (E)・社会 (S)・企業統治 (G) のESG全般を考慮に入れた「総合型」指数2つと、社会 (S) のうち女性活躍に着目した「テーマ型」指数1つを選定、その指数に連動するようにパッシブ運用を行なう。**【図表2】**
- GPIFが公表した過去の5年間 (2012年4月～2017年3月) の試算によると、今回選定された各ESG指数ともにTOPIXを上回るリターンを獲得し、この3つの指数を組み合わせた「ESGポートフォリオ」は、リスク低減効果が確認された。**【図表3】**
- このような投資の拡大は、日本企業のESG評価向上のインセンティブになり、その対応が強化されることにより長期的な企業価値の向上につながる効果が期待される。またこうした企業のESG評価向上により、ESGを重視する海外投資家からの資金流入につながれば、日本株全体のパフォーマンス向上にも寄与する可能性がある。

【図表3】 各指数のリスク・リターン



(注1) リターン、リスクは過去5年間 (2012/4～2017/3) の年率。
(注2) ESGポートフォリオ全体については、 、 、 に仮に2対2対1の割合で配分した場合の試算。

(出所) GPIF、GSIA、各種資料を基に大和投資信託作成
FTSE Blossom Japan Indexの全ての権利はFTSE International Limitedに帰属します。MSCIインデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

❗ 投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率 (税込)	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的に ご負担 いただく 費用	購入時手数料	0~3.24%	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 最大32,400円 をご負担いただけます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 最大5,000円 をご負担いただけます。
信託財産で 間接的に ご負担 いただく 費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~2.5528%	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 最大1日あたり約70円 をご負担いただけます。
	その他の費用・ 手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は弊社が運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。投資信託によっては換金手数料をご負担いただく場合があります。※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会